

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物は適正に分別・廃棄物業者へ委託し、廃油等の再生利用可能な資源はリサイクルを行っている。 ・特殊なプロセスで廃棄物から抽出されたナイロン繊維であるECONYLをフロアマット等に使用している。 ・ペットボトルや段ボールなど再利用可能なゴミの量を把握し、周知している。											○	○		○					
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・電気使用量、水道使用量を社内報で共有・掲示し、使用量削減を図っている。 ・太陽光パネルを設置し、自社でのエネルギー産出を行っている。 ・屋外看板にタイマーを設置し、夜間の省エネに努めている。							○						○						
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・2025年より、事業所内で使用する電力を山梨県営水力発電所由来のCO ₂ フリー電気に変更している。 ・2022年にショールームウィンドウに耐熱および遮光フィルムを貼り、空調設備の効果を最大限に活用する対策を行った。							○					○	○						
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令等で規制されている化学物質を把握し、使用していない。			○				○					○	○						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・隣接する畑地に流れる井戸水を止めないようショールーム及び整備工業を建築し、周囲の生態系の保全に努めている。							○									○			
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・2021年より、上下水道使用量を把握し、社内報にて社員に共有・周知することで、利用量の削減に努めている。							○												
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・全BMW MINIディーラーがエコマーク取得に取り組んでおり、全社員を対象に教育・訓練を実施している。			○				○	○					○	○	○	○			
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・電気使用量、水道使用量を社内報で共有・掲示し、使用量削減を図っている。 ・Cool Japanに賛同し、社内にて掲示している。 ・BMW Groupにおける環境への取り組みをHPIにて発信している。													○						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・太陽光パネルを設置し、自社でのエネルギー産出を行っている。 ・2025年より、事業所内の電力を山梨県営水力発電所由来のCO ₂ フリー電気に変更している。							○						○						
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・BMW Groupは2018年にタイヤメーカーやサプライヤーとともに「持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム(Global Platform for Sustainable Natural Rubber-GPSNR)」を設立し、天然ゴムの持続可能な生産と供給に尽力している。													○	○	○	○			
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・再生資源を原材料としたノベルティを積極的に使用している。 ・一般ごみから自動車部品まで、可能なものはリサイクルを行っている。 ・再生用紙の使用を推進している。 ・裏紙の使用、ペーパーレス化を促進している。							○					○	○	○	○	○			
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・就業規則にて方針を定めており、適宜教育を行っている。 ・金銭等に関わる場合は管理者から経営者までが把握できる体制が設けられている。																		○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・就業規則にて方針を定めており、適宜教育を行っている。 ・関係業者についても、年に1回「下請事業者との取引に関する調査」を報告しており、指摘事項がないことを確認している。																			○
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・冊子やSNS配信等、すべての発行物に対して、自社・他社ともに権利の侵害が行われないようチェックが行われている。									○	○									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・IBM社独自のオフィスシステムサーバー(Windowsではない)を使用し、堅牢なセキュリティの中で業務を行っている。 ・個人情報保護に対する基本方針を明文化し、社員に周知するとともに、関係法令・就業規則に則り、適切な管理を行っている。																			○
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・紛争鉱物について把握し、使用していない																		○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	・BMW Groupとして、サプライチェーン内での車両1台あたりのCO ₂ 排出量を2030年までに20%削減する取り組みを行っている。 ・独自に定めた厳格なサステイナビリティ要件を満たしているサプライヤーにのみ発注し、2018年に世界約4,200の拠点を対象に評価が行われ、基準を満たなかった194拠点とは契約を終了している。									○		○		○	○	○	○	○	○	

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	28	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・万一の事故の際、事故発生時の被害を最小化する技術を常に進化させており、最新の安全装備で乗員と歩行者がどちらも保護されるよう、ダミーによる衝突試験を重ねて行っている。			○																
	29	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・お客様からのご意見を基にした満足度評価システムを導入し、品質・サービス向上に努めている。 ・ミスリーショッピングが四半期に1回実施され、品質・サービスの現状把握と改善を図っている。								○											
	30	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・2030年までに再生処理材料割合の大幅増(アルミニウムは4-6倍、スチールでは2-5倍)を目標としており、効率的なリサイクルの為にライフサイクル・エンジニアリングに取り組んでいる。						○					○	○	○	○					
	31	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・自動車部門の温室効果ガス削減に向けて、ゼロ・エミッションの電気自動車普及を推進している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	32	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・近隣の住宅街への配慮として、夜間はショールームや敷地内の電灯を最小限に抑えている。 ・週に1回以上、周辺道路(公道)の清掃を行っている。 ・安全確保の為、視界に入る街路樹の管理も徹底している。 ・県内唯一の正規ディーラーであり、ご購入後も安心できるサービスを提供している。				○					○				○	○				○	
	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・2021年 チャリティイベントを行い、新型コロナウイルス対策支援金を山梨県に寄付。 ・2022年 フードドライブを行い、家庭の余剰食品を認定NPO法人 フードバンク山梨に寄付。 ・2022年 自然保護協会に寄付。 ・2023年 フードドライブを行い、家庭の余剰食品を認定NPO法人 フードバンク山梨に寄付。 ・2024年 チャリティーTシャツを販売し、犬保護活動団体 ビースワンコ・ジャパンに寄付。 ・2025年 チャリティーTシャツを販売中、山梨県「人と動物の共生プロジェクト」に寄付				○						○				○	○			○	
	34	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・地域の伝統工芸品である甲州印伝を使用したオリジナルキーホルダーの販売を行っている。 ・イベント開催の際は、積極的に県内飲食店を誘致している。												○	○						
組織体制	35	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している	基本	社会	・法令順守について記載された就業規則を常時間閲覧可能としており、必要に応じて社内掲示を行っている。																		○	
	36	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・経営理念・ビジョン・目標を明文化した冊子を各スタッフに配布し、朝礼にて唱和を行っている。また、管理者との定期的な面談等により求められる役割や、会社のあるべき姿を確認している。								○	○									○	
	37	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・各部署から選出されたメンバーによる健康経営プロジェクトを発足し、月1回のミーティングにて、法令に抵触する言動が無いことを確認している。																			○
	38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・各部署から選出された健康経営プロジェクト担当者が取り組み推進や情報発信を行っている。																			○
	39	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・BMW Groupの定期監査が年1回実施されており、リスクの特定・評価・マネジメントが徹底されている。																			○
	40	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・介護・福祉車両改造を行っており、病気や事故により、運転が困難となった方の生活のサポートに繋がっている。必要な部品は国産車・輸入車問わずに取付ができ、乗り換え時には再利用が可能なものを採用している。																			○
	41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・ご利用いただいているお客様とはご来店や訪問時に対話をし、より良い企業活動に努めている。 ・異業種も含む県内外の関係先と強いコネクションを築き、イベント等でのコラボレーションもしている。																			○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・BCP連絡網を作成し、事故・災害情報受信・安否の確認が必要と判断された場合は速やかに行動する。半年に一度、訓練を行い、対応を確認している。 ・防災ハザードマップの確認・避難計画・事前防災対策を社内共有・リスクに備えている。												○	○						○	

